



名取市市民活動支援センター

だより

1月号

2019 Vol.23

新年あけましておめでとうございます！ 

～指定管理 3 年目に向けて～



新年あけましておめでとうございます。名取市市民活動支援センター（なとせん）は、市民活動の促進施策のひとつとして名取市が平成 18 年に設置した施設で、市民活動の場の提供や情報提供などを通して市民活動の支援に取り組んで参りました。

当法人は、平成 27 年 4 月より管理運営業務を受託し、平成 29 年 4 月から指定管理者として、名取市のご指導を頂きつつ、当センターの円滑な管理運営に努めて参りました。この間、市民の皆様、市民活動団体の皆様に当センターをご活用頂くとともに温かいご支援、ご協力を頂いたことに当法人理事と当センターのスタッフ共々厚く御礼申し上げます。

昨年、当センターは、認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構副理事長の手塚明美さんを講師にお招きした名取市市民活動フォーラムや 3 回の情報交換会、4 回の講座、専門相談会等を行い、多数のご参加を頂くことができました。また、なとセンだよりへのご寄稿や情報のご提供、貸事務室への入居など、様々な場面で頂いた皆様からの多大なご支援により、登録団体数も着実に増加しております。この 1 年間のご協力、ご支援に重ねて厚く御礼申し上げます。

市民活動団体の活動におきましても、名取市市民協働提案事業や西松建設まちづくり基金への応

募数の増加、こどもファンドの成功など老若男女を問わない幅広い活動への展開が図られた 1 年であったと感じております。また、11 月に多くの登録団体の協働による「なとセンわくわくフェスタ」などを通じて、当センターの地域への浸透が図られるなど、市民による公益活動が着実に浸透してきていると実感しております。

当法人も名取市の市民協働提案事業として 3 月に市民活動団体の紹介冊子「名取で輝く市民活動団体一覧」を発行し、6 月には市民活動行動指針策定委員会を発足させるなど、自主事業にも取り組んでおります。

特定非営利活動促進法が施行されて以来 20 年、市民活動の新たな段階を模索しつつ、当法人は平成 31 年も指定管理者として名取市市民活動支援センターの円滑な管理運営に努め、名取市の市民活動の支援と拡充のための役割を果たしていきたいと考えております。

今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって新年がより良き一年となりますよう心より祈念申し上げます。

名取市市民活動支援センター指定管理者
特定非営利活動法人パートナーシップなとり
代表理事 阿留多伎 真人



団体の基盤強化に

プロボノを知ろう！

《プロボノ基本情報》

プロボノとは、「公共善のために」を意味するラテン語で、職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般を指し、それに参加する専門家自身をプロボノワーカーと呼びます。

専門分野での取り組み

もともとはアメリカやイギリスの法律関連職の人々が無報酬で行う公益事業のことを指していましたが、近年はプロボノ希望者を NPO などに仲介するサービスが増えています。

日本では、2009 年頃からプロボノ活動に対する注目が高まり、東北復興支援活動を中心に土業の他にも、マネジメント系、デザイン・クリエイティブ、システム・IT 系、調査・分析系のスキルを持ったプロボノワーカーが被災地へ出向き地元企業や商店街の復興を支援するなど幅広い取り組みにより、その認知度が高まりました。

組織の苦手を克服！

プロボノは、あくまでボランティア業務であり、業務を依頼した組織が、最終的に自立して事業を行うことが基本となります。短いもので数日間から長いもので数カ月程度と、活動期間が決まった仕事である場合が多いです。

一般的には、経営方針のアドバイスや、ホームページ作成など、その組織が苦手としている作業や後回しになっている業務に対する支援依頼が中心です。

職業スキルを活かし社会貢献

自身の仕事のスキルを活かした社会貢献活動で、たとえ無償であっても組織や人に直接役に立つことができ、社会課題解決に貢献するという充

実感が得られます。

現代社会において年金の受給開始時期も伸びる傾向で、想定以上に長く働く時代になりつつあります。早い段階から会社での仕事とは別の活動を始めていくことは、その後の活躍の場を見つけやすくなり現役を続けるきっかけにもなります。

また、プロボノに参加し個人のスキルが上がると、今の会社での仕事に還元できる場合も多いことから、今後ますます、企業の CSR としてもプロボノ活動への意識が高くなる事が見込まれます。

宮城県の取り組み紹介

プロボノは、取り組む双方にメリットがあります。名取市市民活動支援センターでは、市民活動団体の安定した運営と活性化を図る方法としても有効なプロボノをテーマに、第 3 回市民活動団体と企業の情報交換会を開催します。宮城県の NPO・協働社会推進班からお二人を招き、昨年からの取り組みを紹介するプロボノ事業の紹介や、今後の予定について解説頂きます。市民活動団体、社会貢献に興味のある企業の方などお気軽にご参加ください。

第 3 回市民活動団体と企業の情報交換会開催

- 日時 : 2月8日(金) 13:30~16:00
会場 : 名取市市民活動支援センター
内容 : 1.プロボノとは(NPO・企業の視点から)
2.宮城県でのプロボノのとりくみ
3.プロボノの事例紹介
対象 : 名取市内で活動する市民活動団体と、
企業で社会貢献に興味のある方
定員 : 30名(先着順/要予約)
参加費 : 無料
申込先 : 名取市市民活動支援センター
☎022-382-0829 FAX022-382-0841
E-mail npo@natori-npocenter.or.jp

なとセン登録団体紹介

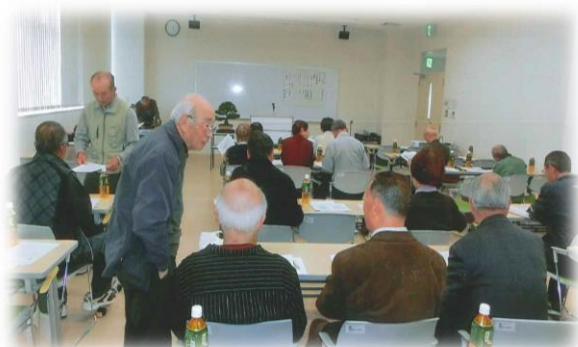
宮城県年金協会名取地区会

宮城県年金協会名取地区会は、一般社団法人 全国年金受給者団体連合会 宮城県年金協会が、昭和43年に年金事業運営の円滑化を目的に厚生省によって設立されてから、25年後の平成5年5月に、仙台南支部の下部組織として発足しました。（一社）全国年金受給者団体連合会は、公的年金受給者自らが年金制度について理解を深め、年金受給者相互の親睦と福祉の向上をはかる目的で設立された団体です。公的年金受給者の立場から、関係国会議員や関係省庁等に対して陳情活動を通じて、年金・医療をはじめとする社会保障制度全般や税制の改善を求めています。また、会員の生きがいづくりと親睦を図るために実施する、ボランティア活動や、年金制度、教養・生きがい・趣味等の講座、スポーツ大会等の事業に対して、その事業の実施を支援しています。

楽しく活動するために

平成28年から名取地区会の代表となった斎藤隆二さんは、それまで整備されていなかった規約等を、会員同士協力しながら作成し、会の運営を円滑にしました。そして、“歳を重ねても楽しむことを諦めて欲しくない”をモットーに、仲間、参加する場所、話し相手のいる喜びを提供するべく、グラウンドゴルフ大会を始め、親睦会や忘年会など様々な交流会を開催しています。

来る2月6日（水）には、名取市市民活動支援センターを会場に「福祉講座」を開催します。様々な病気の要因にもなる“ストレス”について、スーパーストレスケアカウンセラーの佐藤志保子先生をお迎えし、「楽しいストレスケアサロン～ストレスを生きるエネルギーに変えて若返ろう～」と題してお話を頂きます。心と体の健康の両立が、豊かな人生には欠かせない。会員の方は参加できますので、ぜひお誘いあわせのうえご来場ください。と斎藤代表は話します。



交流会の様子

会員を募集しています

宮城県年金協会には、ウォーキングやボーリング、パークゴルフ等の運動系から、囲碁や写真、俳句や音楽系など様々なクラブ活動があり、協会に加入することによって、クラブに参加することができます。現在、宮城県年金協会の会員は14,500名で、内名取地区会の会員は約430名ですが、斎藤代表はさらに一人でも多くの方に入会して欲しいと話します。それは、健康増進だけではなく、たくさんの仲間にも出会うことができるからです。今以上に元気な仲間が増えて「元気な名取」になることを、名取地区会の会員の皆さんは願っています。ぜひ入会について斎藤代表にお問合せ下さい。

入会のご案内

(入会100円) 充実したライフスタイルを目指す方へ

会員募集

入会の手続き

添付の払込取扱票(入金申込書)にて、最寄りの郵便局で会費を納入願います。(会費の納入および入金申込となります)

年会費	おひとり 2,500円
配属費	1,500円

※年会費は特別です。お申し込みが原則は0円(郵送手数料別)となります。

※配属費からは毎年のお申し込みが原則は0円(郵送手数料別)となります。

宮城県年金協会は、どなたでもお入りいただけます!

- 年金受給者協会、各都道府県にありませう。
- 一般社団法人 全国年金受給者団体連合会の会員です。
- どなたでも入会いただけます。(伊達地区)

ご入会後に届くもの

以下のものが入会お申し込み後、約10日程度で届けられます。

- ①会費証
- ②健康誌
- ③会報(年2回発行)
- ④クラブご案内
- ⑤会員特典
- ⑥会員手帳

入会方法

添付の払込取扱票に**住所、氏名、生年月日、電話番号**を記入し、郵便局からお申し込みください。

払込取扱票が添付されていない場合は、宮城県年金協会事務局へお問い合わせください。

お申し込み後、郵便局は会員証が届くまで保留してまいります。

お問い合わせ

一般社団法人 全国年金受給者団体連合会
宮城県年金協会

〒985-0014
仙台市青葉区本町3丁目6番18号 角館台イーストビル4F
〒985-0014 午後5:30(土・日・祭・年末年始は休)

TEL. 022-266-4184

FAX. 022-266-3022

E-mail: info@miyagi-nenkin.jp
ホームページ: 宮城県年金協会

問合せ
 宮城県年金協会名取地区会
 代表 斎藤隆二 ☎022-384-2451

なとセン information

市民活動講座

「日々の会計と決算書作成のポイントを学ぼう」

団体が活動するなかで日常的に発生する、帳簿のつけ方、請求書や領収書の整理や取り扱い方、決算（会計）報告書の作成ポイント等、わかりやすく学びます。

- 開催日 2月22日（金）
- 時間 13:30~16:00
- 対象 市民活動団体の会計担当者、町内会なども参加可
- 会場 名取市市民活動支援センター
- 定員 20名（先着順/要予約）
- 参加費 無料
- 問合せ 名取市市民活動支援センター ☎022-382-0829



● 講師 小野恵子 さん
（特定非営利活動法人社の伝言板ゆるる会計サポーター）

専門相談会 相談者募集中

- 開催日 1月17日（木）・2月28日（木）
- 時間 13:30~、14:45~、16:00~
- 定員 3団体（個人でも可）
- 会場 名取市市民活動支援センター
- 相談料 無料

参加者募集

平成30年度生涯学習グループ自主企画講座 みやぎ化学物質過敏症の会〜ぴゅあい〜

「化学物質過敏症シンポジウム」

【香害】香りによって体調が悪くなる方が増えて来ました。日本で数少ない化学物質過敏症専門医をお招きして、医学的観点からお話して頂きます

- 日時 2月10日（日）13:00~16:00
- 場所 名取市文化会館 小ホール（3F）
- 講師 宮田幹夫医師：そよ風クリニック院長、北里大学名誉教授。第一人者として研究をして、専門医として臨床でご活躍。薬を処方しない生活・食事指導の医師。
- 参加費 無料（メールにて要予約）
- ※お願い 香水・柔軟剤等の自粛にご協力ください
- 申込み Mail: pyuai.miyagi@gmail.com
- 問合せ先 ☎022-702-7969（代表：佐々木）

登録団体情報

「内閣府より平成30年度 社会参加章受章」

宮城県教育委員会主催「生涯学習支援者養成講座」全課程修了者が理事となり企画を立て、組織的に活動に生かしている。年に数回の総合学習講座開催の他、地域検定や地域に伝承している話などの絵本製作なども行うなど地域主体の町づくりに貢献している。

● 特定非営利活動法人生涯学習実践塾

「吉野復興大臣より感謝状」

被災者支援をはじめ地道に地域貢献活動を行っている団体として感謝状を受賞しました。

- 特定非営利活動法人仙台傾聴の会
- 一般社団法人ふらむ名取
- 一般社団法人プレーワーカーズ

発行日：平成31年1月1日
発行：名取市市民活動支援センター
発行部数：1,000部
編集：特定非営利活動法人 パートナーシップなとり
問合せ先：〒981-1232 宮城県名取市大手町5丁目6-1
TEL:022-382-0829 FAX:022-382-0841
E-mail: npo@natori-npocenter.or.jp
HP: http://www.natori-npocenter.or.jp
Blog: http://blog.canpan.info/natori

